中学部

～生徒一人ひとりの自立と社会参加を目指して～

本校の進路指導と将来に向けて



NotebookLM

生徒一人一人の自立と社会参加を目指して

１　進路指導及び進路状況について

２　一般（企業）就労について

３　福祉事業所の利用について

４　将来に向けて必要なこと

本校の12年間の成長のロードマップ



小学部

【基礎の構築】

社会生活に必要な基礎的・基本的な力を身に付ける（生活習慣の確立、コミュニケーションの土台）。



中学部

【経験の拡大】

基礎を土台に、働くことへの関心や社会参加に必要な力を広げる（職場見学、生活経験の拡大）。



高等部

【実践と決定】

実践的な学習を通して、社会に出ていくために必要な知識・態度・習慣を身に付ける（実習、進路選択）。

NotebookLM

中学部・高等部卒業後には、様々な進路の選択肢について

中学部
卒業時

本人の
自己選択

高等部進学



施設等
入所・通所



就職



高等部
卒業時

本人の
自己選択

福祉事業所
（入所・通所）



職業訓練校等
への進学



企業就労
（療育手帳等を活用した
障害者雇用）



NotebookLM

過去3年間の卒業生の進路状況



福祉的就労や生活支援を利用する生徒が多くを占めます。サービス内容だけでなく、「お子さんの目指す将来に合うか」を実際に見学して選ぶことが重要です。

NotebookLM

一般（企業）就労へのステップ

ハローワークを通じた「障害者雇用」での就労を指します。
（※障害者手帳が必須です）



1. 学校生活・授業



2. 短期企業実習 (高1) / 現場実習 (高2〜高3)

様々な企業で実習をする。



3. マッチングを図る

本人の希望と会社の評価の確認をする。



4. 企業へ就職

NotebookLM

一般（企業）就労へのステップ

会社が求める8つの力（一般就労の条件）

企業で働くためには、作業能力の前に「生活の基盤」が強く求められます。



【枝葉：仕事に向かう姿勢

- 指示されたことを理解できる
- 分からないことを周囲の人に聞ける
- 素直に注意を聞く、嘘や言い訳をしない

【幹：自立と基本習慣】

- 遅刻、欠勤がほとんどない
- あいさつ、返事ができる
- 一人で通勤できる

【根：心身の基盤】

- 健康、安全に留意して行動できる
- 情緒が安定している

NotebookLM

福祉事業所の利用へのステップ

福祉サービスを利用するには市町村へ受給者証の申請が必要です



1. 学校生活・授業



2. 現場実習（高2〜高3）

様々な企業で実習をする。



3. マッチングを図る

本人の希望と事業所の評価を確認をする。



4. 事業所を利用

NotebookLM

福祉サービスの種類

就労移行支援

学校卒業後、一般企業への就職を目指して訓練に専念する。



就労継続支援A型

福祉事業所で支援を受けながら働く。
（雇用契約有）



就労継続支援B型

福祉事業所で支援を受けながら働く。
（雇用契約なし）



生活介護

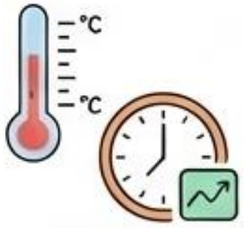
入浴、食事、排せつ等の生活支援。
※作業を行い工賃が出る事業所もあります。



NotebookLM

就労継続支援A型、B型について

※生活介護でも作業を行い、工賃をもらえる場所もある。

	就労継続支援A型	就労継続支援B型
働き方のルール	雇用契約を結ぶ。 「週5日間」休みなく 働き続けることが必要。 	雇用契約は結ばない。 自分のペースで働く ことができる。 
収入の目安	給与として 約90,000円前後 （最低賃金の保証） 	工賃として 平均15,000円~20,000円 
求められる力	✓ 毎日4時間以上働く「体力・集中力」 ✓ ノルマの達成 ✓ 自力通勤 ✓ 身辺自立ができている（生活面での支援はない）	✓ 身辺自立（生活面での支援はない） ✓ 集団の中で安定して過ごせる ✓ 作業が1人でできる

NotebookLM

自分でできることを増やす

～将来に向けて身に付けておきたい力～

**学校や家庭で「できていること」が、
社会に出たときの大きな長所・武器になります。**



身の回りの自己管理・身辺自立



家庭でのお手伝い（役割）

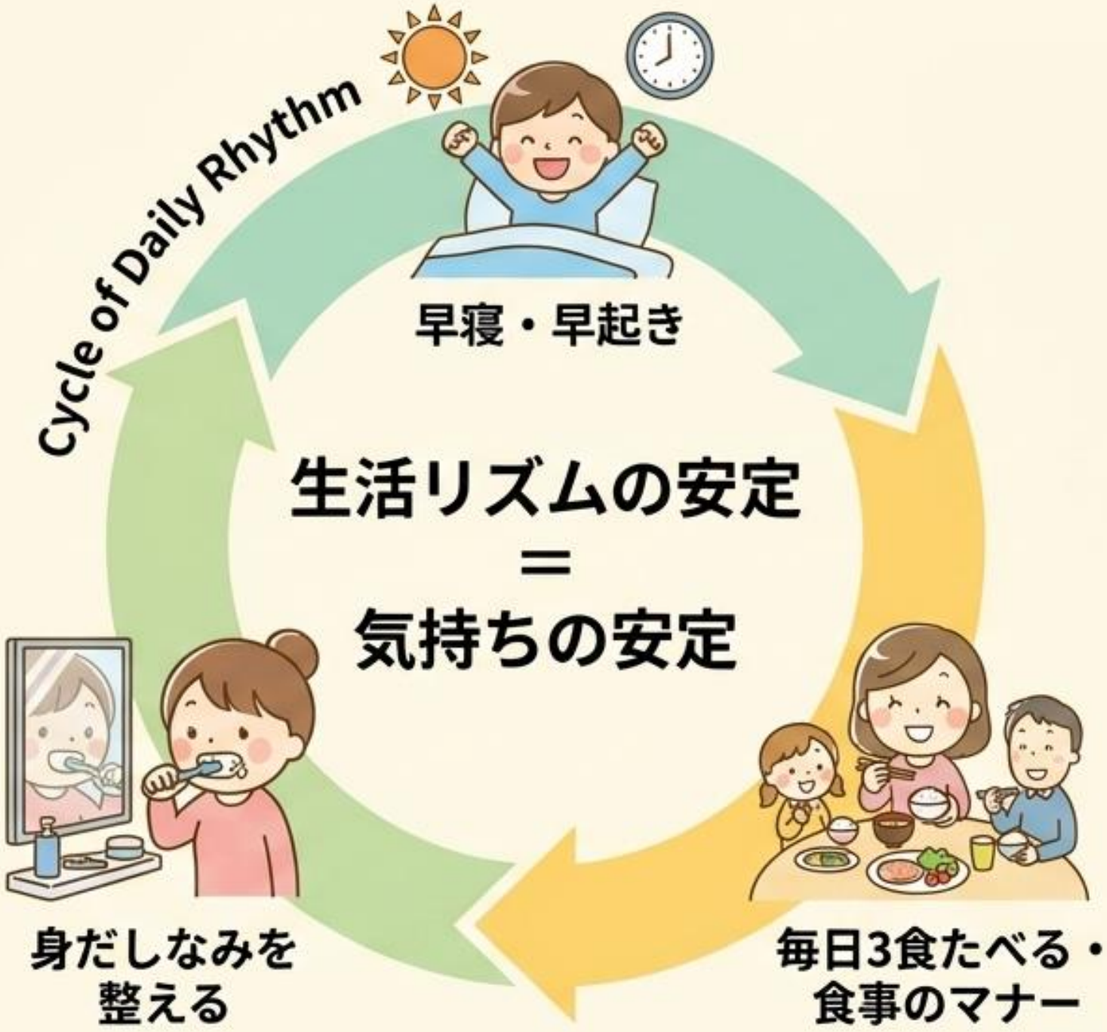


自分の好きなこと・苦手なことを知る

NotebookLM

基本的生活習慣の定着

～将来に向けて身に付けておきたい力～



「休まず通う力」が社会生活の基礎。

「仕事の技術よりも、
体調管理や生活リズムが
最も大切」

―― 企業・福祉事業所の声

NotebookLM

社会性・対人関係の力

～将来に向けて身に付けておきたい力～

スキル以上に「態度」や「取り組む姿勢」が評価されます。



挨拶、返事をする







★支援を求める力

（困ったときに「助けて」と伝える）



ルールや約束を守る

NotebookLM

「経験・体験」の積み重ね

～将来に向けて身に付けておきたい力～

TRY





【成功体験】「できた！」
→ もっとやってみたい（意欲）



【失敗体験】
「うまくいかなかった」
→次はどうすればいい？
（一緒に考える）

成長
(Growth)



★大切なのは、失敗しても受け止めてもらえる安心感のある環境でTRYすること。

NotebookLM

結びに：学校・家庭・地域の連携で支える自立への道



心配なこともあるかと思いますが、お子さんを見守り、安心して「挑戦」できる環境を一緒につくっていきましょう。